FY2026.Q3決算説明資料

株式会社Orchestra Holdings（6533）

2026年11月13日

ORCHESTRA HOLDINGS



目次

- エグゼクティブ・サマリー
- FY2026.Q3決算概要
- 成長戦略
- 補足資料

©2026 Orchestra Holdings Inc. Securities Code : 6533

ORCHESTRA HOLDINGS

FY2026.Q3 主要トピックス

1

業績コメント

- 主要事業の再成長により、売上・利益ともに回復基調が鮮明
- 営業利益は13億円で着地、**前年同期比で＋21.4%増加**。予算進捗率は81.5%

2

２四半期連続となる株主還元策の拡充※1 ※2

- 年間配当を30円から50円へ大幅増配し、累進配当方針のもと継続的な株主還元を強化
- 株主優待を**最大36,500円分**に拡充し、配当と合わせた総合利回りは**最大11.2%**

3

新たなフェーズを作るDX事業のグループ再編※3

- DX事業のグループ再編により、2027年12月期に**年間3億円以上**のコスト改善を見込む
- 約1,000名のDX基盤を集約し、大型案件・クロスセル・AI活用で利益成長を加速

※1：株主優待制度の拡充及び配当予想の修正（増配）に関するお知らせ （2026年9月25日開示）https://ssl4.eir-parts.net/doc/6533/tdnet/2887681/00.pdf
※2：上場10周年記念株主優待の増額及び今後の株主還元に関するお知らせ（2026年11月10日開示）https://ssl4.eir-parts.net/doc/6533/tdnet/2910199/00.pdf
※3：グループ組織再編（連結子会社間の吸収合併及び吸収分割）に関するお知らせ（2026年10月13日開示）https://ssl4.eir-parts.net/doc/6533/tdnet/2893933/00.pdf

©2026 Orchestra Holdings Inc. Securities Code : 6533

ORCHESTRA HOLDINGS

FY2026.Q3 業績ハイライト｜連結PL（累計期間）

- 主要事業の再成長により、売上・利益ともに回復基調が鮮明であり、**営業利益は期初予算を上回って着地する見込み**
- 営業利益は13億円で着地、前年同期比で**＋21.4%増加**。予算進捗率は81.5%

単位：百万円	FY2025.Q3	FY2026.Q3	前年同期比	業績予想	進捗率
売上収益	**11,748**	**12,073**	**＋2.8%**	**17,500**	**69.0%**
売上総利益	**5,136**	**5,552**	**＋8.1%**	**ー**	**ー**
売上総利益率	43.7%	46.0%	＋2.3pt	ー	ー
販管費	**4,113**	**4,261**	**＋3.6%**	**ー**	**ー**
事業利益	**1,022**	**1,290**	**＋26.1%**	**ー**	**ー**
営業利益	**1,074**	**1,304**	**＋21.4%**	**1,600**	**81.5%**
営業利益率	9.1%	10.8%	＋1.7pt	9.1%	ー

セグメント別　（累計期間／単位：百万円）

DX事業

売上高	セグメント利益
5,985	586
YoY ＋ 4.8%	YoY +21.9 %

DM事業

売上高	セグメント利益
4,428	1,556
YoY +5.6 %	YoY +13.8 %

IP・エンタメ・その他事業

売上高	セグメント利益
1,747	12
YoY △12.3 %	YoY △43.3 %

©2026 Orchestra Holdings Inc. Securities Code : 6533

ORCHESTRA HOLDINGS

株主還元策

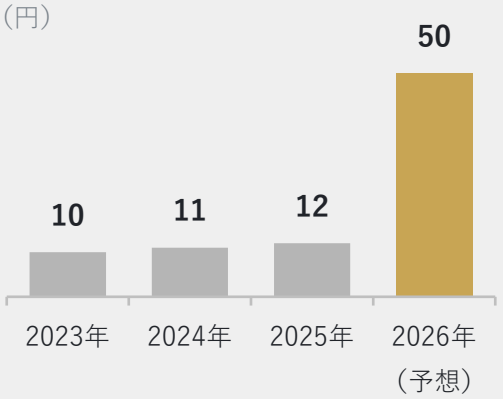
- 2026年9月25日、株主優待制度の拡充および配当予想の増額を発表※1
- 2026年11月10日、上場10周年記念株主優待を10,000円分から20,000円分に増額を発表※2
- 200株保有時の総合利回りは、保有1年未満で10.9%、1年以上で11.2%となる見込み※3

剰余金の配当

1株あたり50円

配当利回り 2.4%

今後も累進配当を基本方針とし、
継続的・安定的な株主還元を推進



株主優待制度

2026年12月31日基準で200株以上保有の方が対象
通常優待に加えて、上場10周年記念優待を贈呈

保有1年未満（増額）
通常優待 15,000円分
＋ 10周年優待 **20,000円分**
優待利回り **8.5%**

保有1年以上（増額）
通常優待 16,500円分
＋ 10周年優待 **20,000円分**
優待利回り **8.8%**

200株保有時の総合利回り※3

保有1年未満 **10.9%**
配当 2.4% ＋ 優待 8.5%

保有1年以上 **11.2%**
配当 2.4% ＋ 優待 8.8%

※1：株主優待制度の拡充及び配当予想の修正（増配）に関するお知らせ（2026年9月25日開示）https://ssl4.eir-parts.net/doc/6533/tdnet/2887681/00.pdf
※2：上場10周年記念株主優待の増額及び今後の株主還元に関するお知らせ（2026年11月10日開示）https://ssl4.eir-parts.net/doc/6533/tdnet/2910199/00.pdf
※3：配当利回り及び優待利回りは、2026年11月9日の当社株式終値（2,067円）を基準に算定

@2026 Orchestra Holdings Inc. Securities Code : 6533

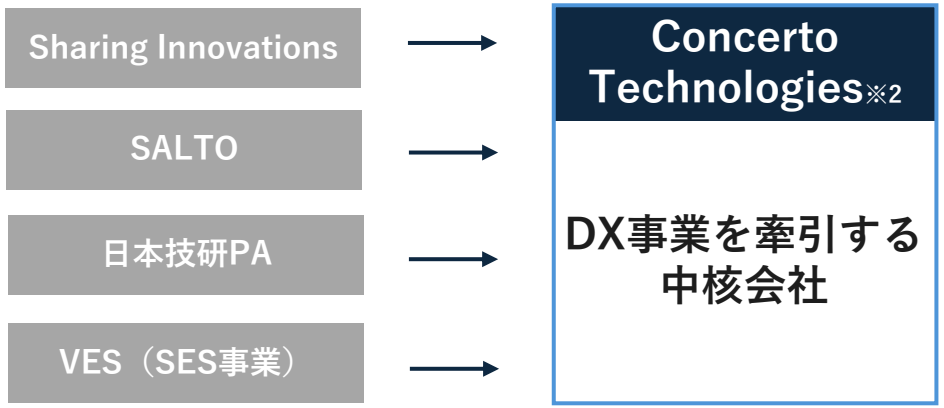
ORCHESTRA HOLDINGS

DX事業の再編について

- Sharing Innovationsの完全子会社化とグループ再編により、約1,000名規模のDX事業基盤を集約
- グループ各社の経営資源最適化により、中長期的な利益成長を加速し、**年間3億円以上**のコスト削減効果を見込む

DX4社を1社に統合

DX事業の中核機能を集約し、
競争力・収益力を強化



再編による期待効果

01　事業基盤の集約による成長加速

各社の人材・技術力・顧客基盤を結集し、大型案件への対応力を強化。グループ間のクロスセルや人材の最適配置を通じて、受注拡大と収益性向上を実現する。

02　コスト構造改革による収益改善

上場子会社の非公開化による上場維持コストの削減、組織・拠点運営の効率化により、**年間３億円以上**のコスト改善を見込む

※1：グループ組織再編に関するお知らせ についての補足資料（2026年10月13日開示）https://ssl4.eir-parts.net/doc/6533/tdnet/2894042/00.pdf
※2：DX事業の統合を機に、Sharing Innovationsは「Concerto Technologies」へ商号変更を予定しております。

©2026 Orchestra Holdings Inc. Securities Code : 6533

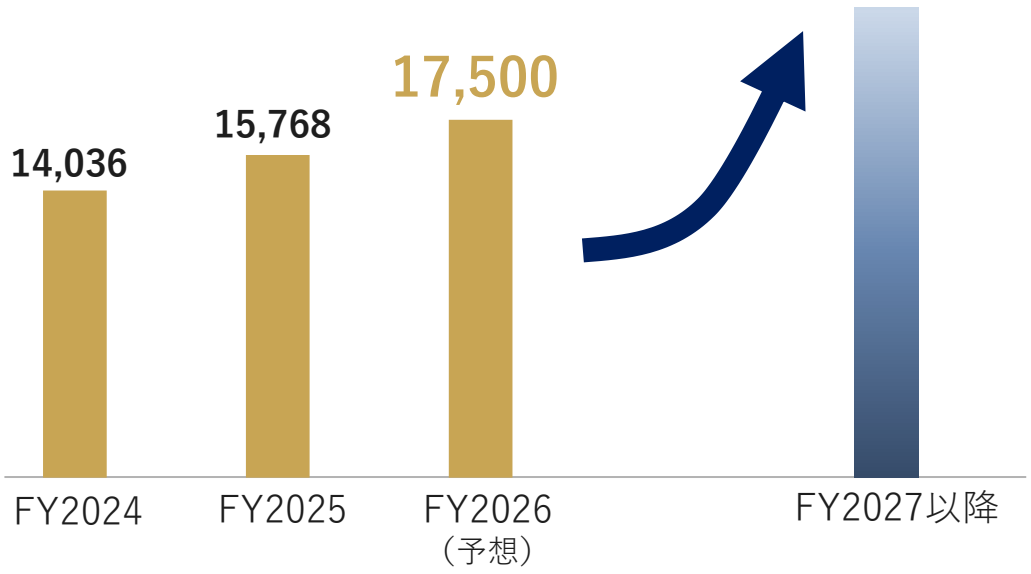
ORCHESTRA HOLDINGS

DX・DM事業の再成長により、業績は再び拡大フェーズへ

- 主要事業の再成長により、売上・利益ともに回復基調が鮮明。FY2026の営業利益は期初予算を上回って着地する見込み
- FY2027は、DX事業の再編により約3億円の収益性改善を見込み、オーガニック成長と合わせ、次なる利益ステージへ

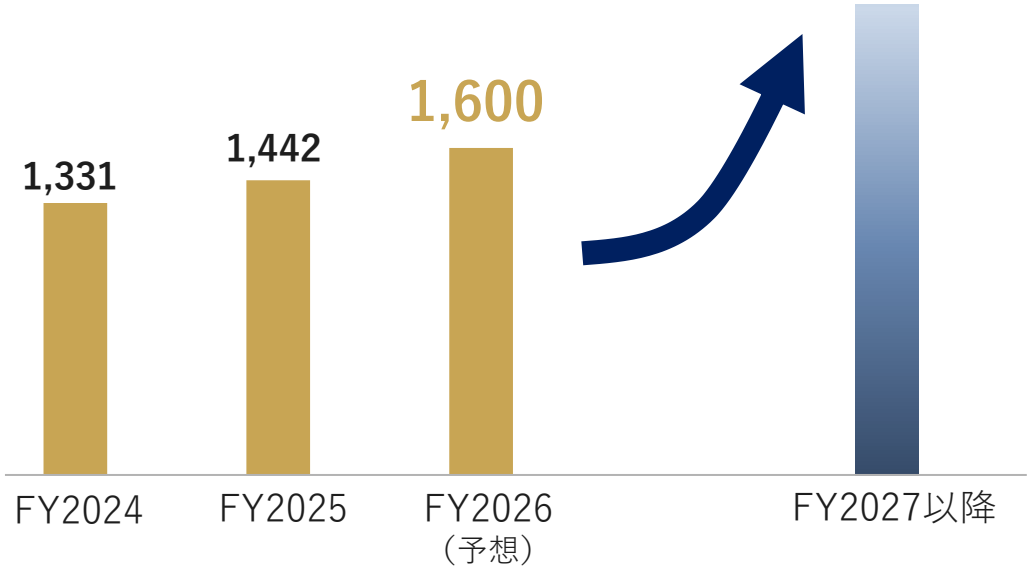
売上収益

（単位：百万円）



営業利益

（単位：百万円）



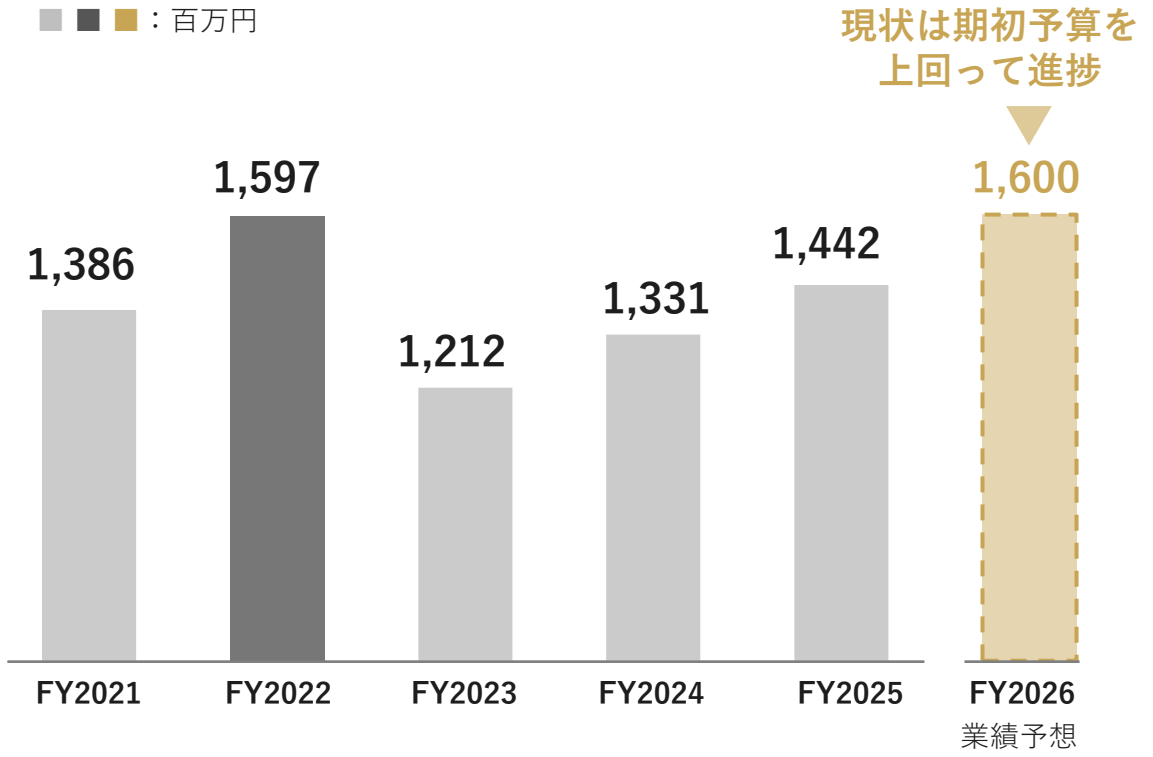
©2026 Orchestra Holdings Inc. Securities Code : 6533

ORCHESTRA HOLDINGS

さらなる利益成長に向けた取り組み

- **FY2026は、継続的な組織構造改革による収益性改善を背景に、過去最高の営業利益を更新する見込み**
- **SALTO社のM&Aによる事業基盤の拡大とDX事業の組織再編により、FY2027以降のさらなる利益成長を加速**

営業利益



利益成長に向けた成長投資・構造改革

01

大型M&AによるSALTO社の参画

SALTO社の参画によりDX事業の人材・顧客基盤を拡充。グループ間の連携強化による大型案件の獲得やクロスセルを推進し、売上・利益成長を加速

02

DX事業の組織再編による収益性の向上

DX事業の組織再編を通じて、経営資源の集約や重複コストの削減を推進。FY2027に年間**3億円以上の収益性改善**を見込み、利益成長を後押し

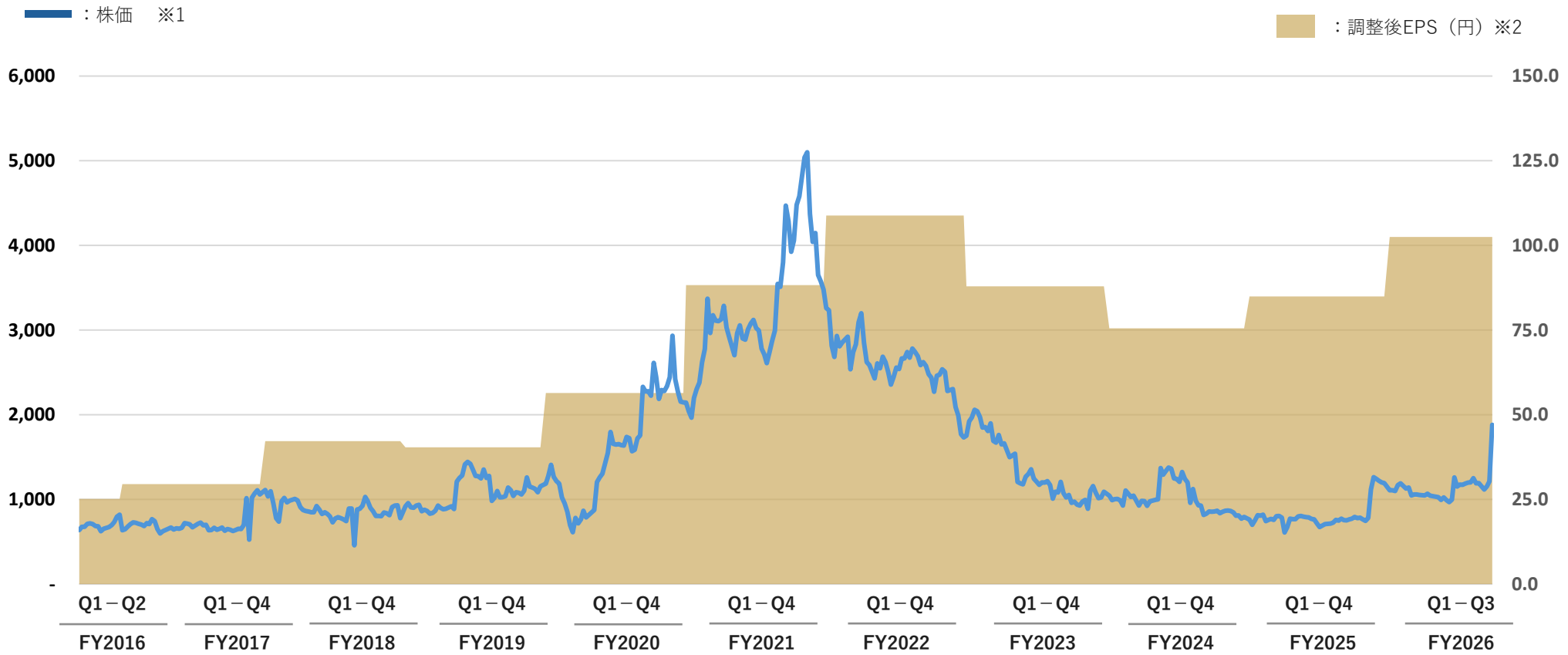
※1：FY2023まではEBITDA（日本基準での連結営業利益に減価償却費および のれん償却費を足し戻して算出。）を使用しております。

©2026 Orchestra Holdings Inc. Securities Code : 6533

ORCHESTRA HOLDINGS

株価・EPS推移

- FY2016の上場からFY2021にかけて、DX事業・DM事業の拡大による利益成長を背景に株価も上昇
- DM事業の大型失注やDX事業の不振により利益成長が鈍化したため、株価も同様に推移。組織構造改革により収益性は改善するも株価の回復は途上
- 中長期的に利益成長を継続する見通しであることから、株主還元策の充実やIRの強化により利益成長に見合う株価形成に取り組む



※1：株価は、１週間ごとの終値の推移を記載。また2017年および2018年に実施した株式分割を考慮し、遡及調整

※2：調整後EPSは、2024年度以降はIFRS適用後の「基本的１株当たり当期利益」の数値を記載。2023年度以前については比較可能性を確保するため、「親会社株主に帰属する当期純利益」に「のれん償却額」を加算した金額を期中平均株式数で除した場合の数値を参考情報として記載

©2026 Orchestra Holdings Inc. Securities Code : 6533

ORCHESTRA HOLDINGS

上場維持基準への対応状況

- プライム市場上場維持基準への適合状況は、引き続き「流通株式時価総額」が未達の状況
- 株価水準の向上と、期末時点における流通株式数の増加の両面から基準達成を目指す

流通株式時価総額

プライム市場基準
100億円以上

＝

平均株価
事業年度末以前3か月間の最終株価の平均値

目安となる平均株価※1
2,100～2,250円程度
現在の流通株式数等を前提とした場合の一つの目安

→ 株価水準の向上

×

流通株式数
事業年度末時点

01 **自己株式510,791株を交付**
Sharing Innovations株式との株式交換に活用

02 **状況に応じて、さらなる施策を検討**

→ 期末時点の流通株式数の増加

現時点では、上場維持基準を達成できる可能性は十分にあるものと認識

なお、基準を達成できなかった場合に備え、スタンダード市場への市場区分変更に係る審査も並行して進めております。

※1：現時点で明確な株価水準をお示しすることはできません。上記は現在の流通株式数等を前提とした目安であり、今後の流通株式数の状況により変動します。

©2026 Orchestra Holdings Inc. Securities Code : 6533

目次

- エグゼクティブ・サマリー
- FY2026.Q3決算概要
- 成長戦略
- 補足資料

©2026 Orchestra Holdings Inc. Securities Code : 6533

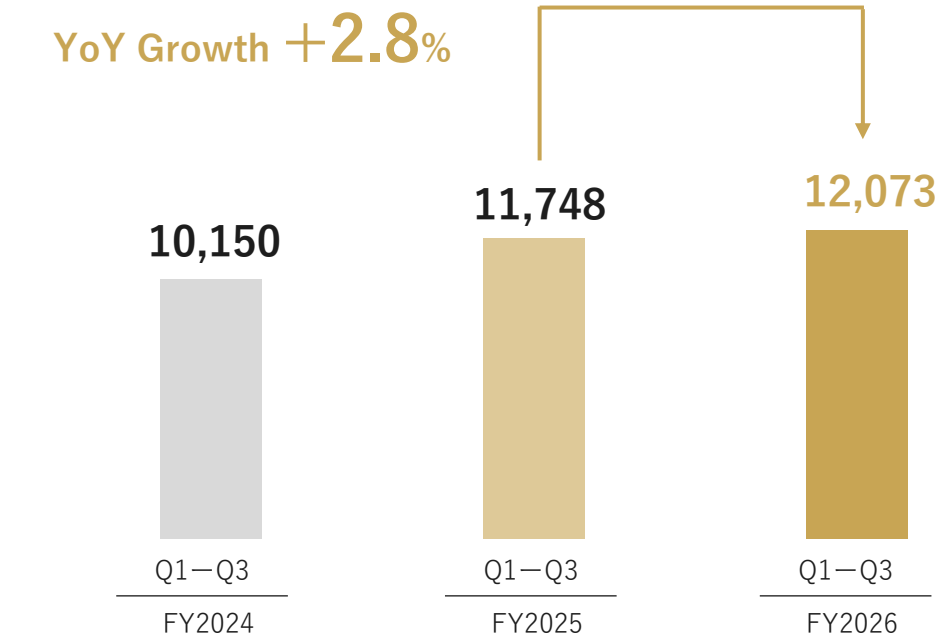
ORCHESTRA HOLDINGS

業績ハイライト（累計期間）

- DM事業・DX事業の着実な成長に加え、IP・エンタメ事業の収益性も大幅に改善し、利益成長を牽引。
- 営業利益は13億円で着地、**前年同期比で＋21.4%増加**。予算進捗率は81.5%。

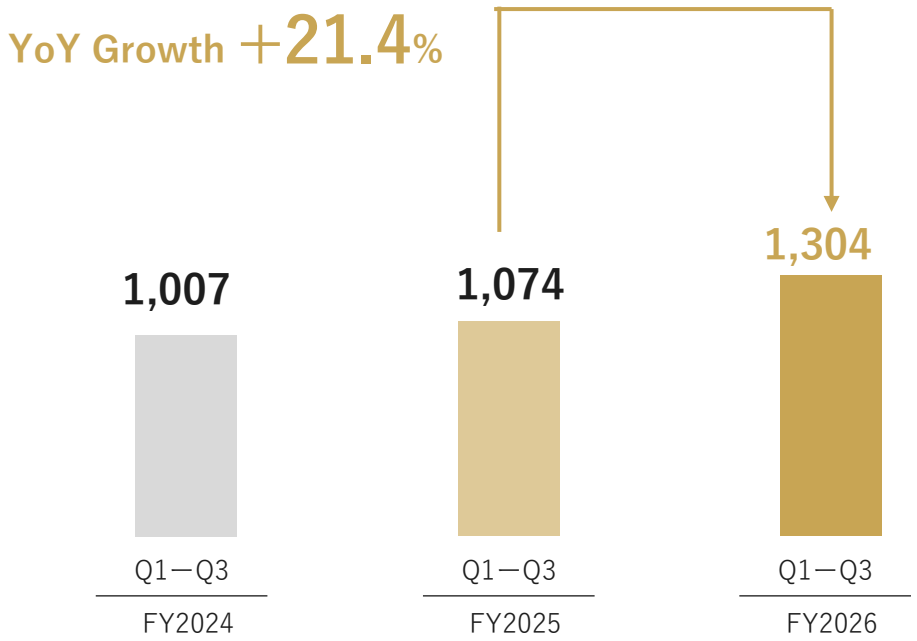
売上収益（連結）

■ ■ ■：百万円



営業利益（連結）

■ ■ ■：百万円



©2026 Orchestra Holdings Inc.　Securities Code : 6533

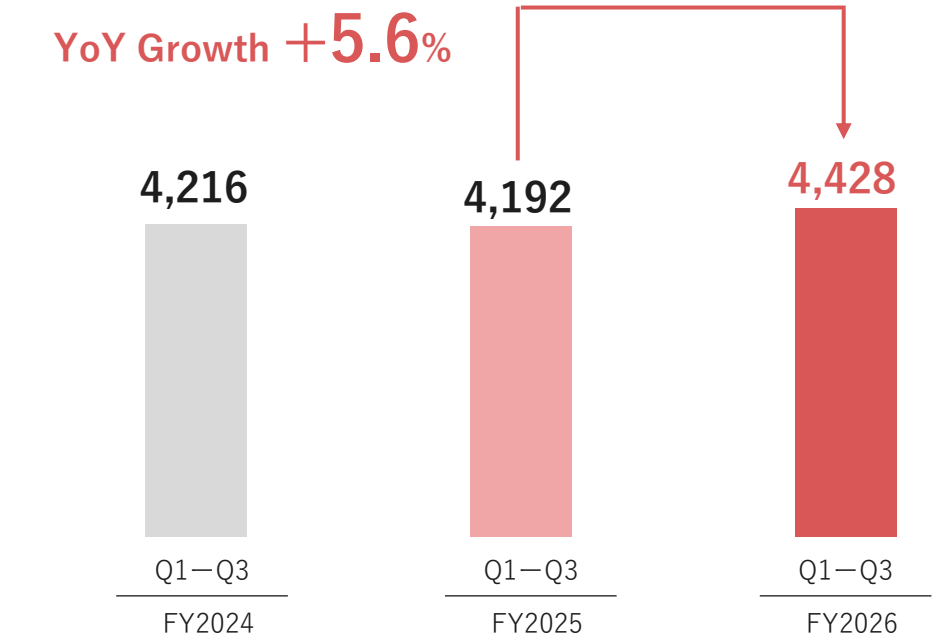
ORCHESTRA HOLDINGS

セグメント分析 | DM事業

- 売上は営業体制の強化および積極的なAI推進により、前年同期比で順調に成長。
- セグメント利益はAI推進により販管費の増加は限定的であり、セグメント利益は前年同期比で+13.8%

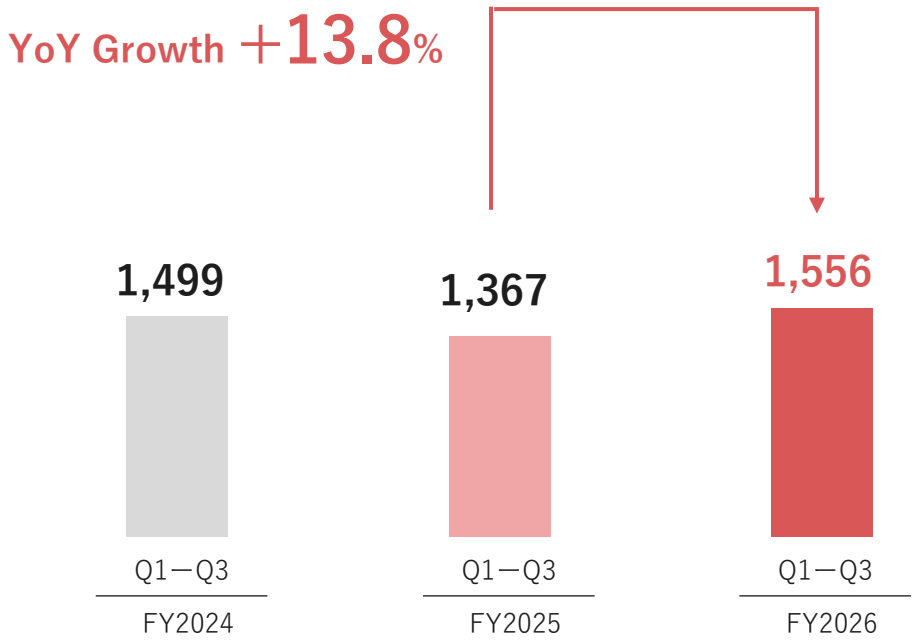
セグメント売上高（累計期間）

■ ■ ■：百万円



セグメント利益（累計期間）

■ ■ ■：百万円



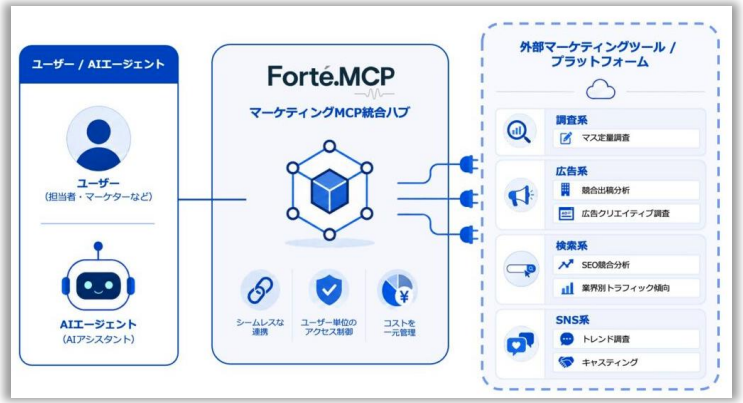
©2026 Orchestra Holdings Inc. Securities Code : 6533

ORCHESTRA HOLDINGS

セグメントトピックス | DM事業

- AIエージェント「Forté.AI」の機能拡張により、企業のAI活用を支援するサービス領域を拡大
- 自社で培ったAI活用ノウハウを外部展開し、新たな収益機会の創出とDM事業の成長を加速

新機能１「Forté.MCP」



- 多様なマーケティングツール・データとAIを一元接続し、データ分析から施策立案までを高度化。すでに複数社で導入が決定しており、企業のAI活用需要を取り込む。

新機能２「ブランド評価」



- 生成AIによる自社・競合ブランドの評価を可視化。分析機能の強化とUI刷新により、AI検索時代のマーケティング施策の高度化とLLMO需要の取り込みを推進。

新サービス「AI人材育成」



- AI活用による45,000時間以上の業務効率化で培った実践ノウハウをサービス化。企業のAI人材育成と業務変革を支援し、新たな収益機会の創出を目指す。

※1：株式会社デジタルアイデンティティ、AIとマーケティングツール・データを接続するMCPゲートウェイ「Forté-MCP」の提供を開始（2026年9月28日開示） https://digitalidentity.co.jp/news/2026/20260928/

※2：株式会社デジタルアイデンティティ、AI 人材の育成に向け独自の E ラーニングを開発 し、全社員が受講完了。自社導入の知見をもとに企業の AI 人材育成の支援を 開始（2026年10月19日開示）
https://digitalidentity.co.jp/news/2026/20261019/

※3：株式会社デジタルアイデンティティ、LLMO分析ツール「Forté.AI LLMO Analytics」に「ブランド評価」機能の追加、分析画面の刷新などの大幅アップデートを実施（2026年10月23日開示）https://digitalidentity.co.jp/news/2026/20261023/

©2026 Orchestra Holdings Inc. Securities Code : 6533

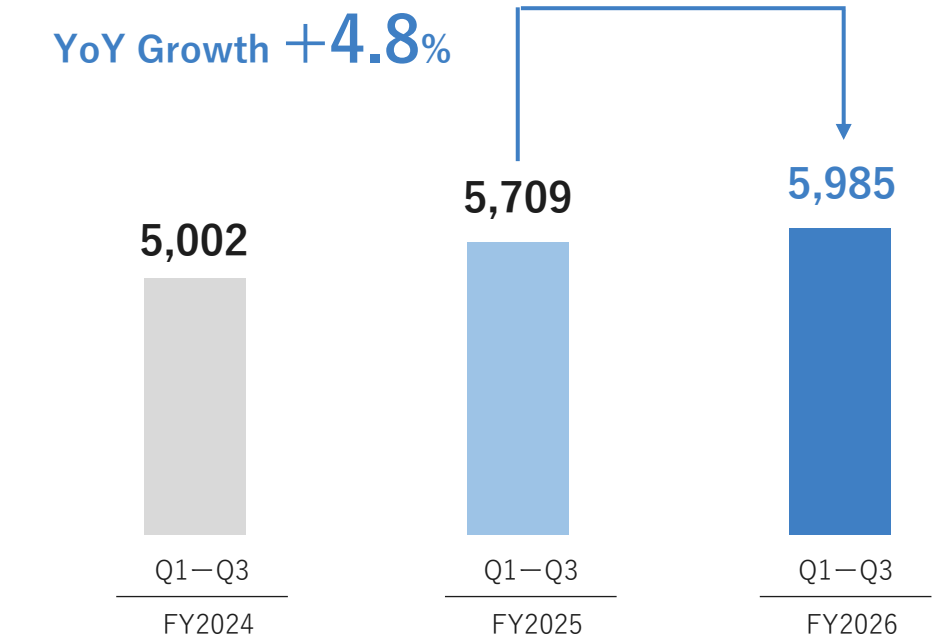
ORCHESTRA HOLDINGS

セグメント分析 | DX事業

- プロダクトミックスの転換により、収益性を重視しつつも、SALTO社の加入により、売上も成長。
- セグメント利益は収益性の向上とSALTOの加入により、21.9%成長。
- 来期は上場維持コストの削減、組織・拠点運営の効率化により、年間3億円以上の収益改善を見込んでいる。

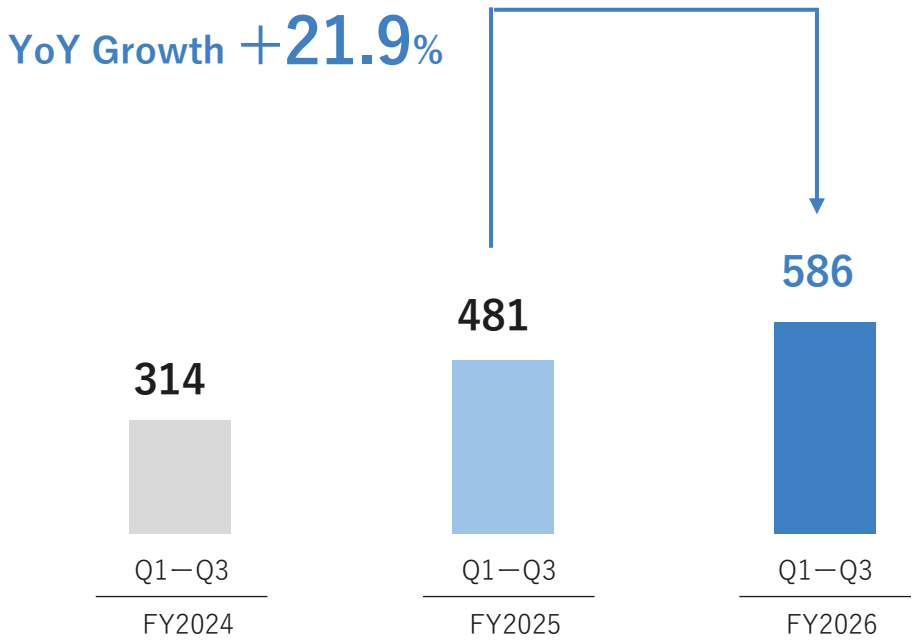
セグメント売上高（累計期間）

■ ■ ■：百万円



セグメント利益（累計期間）

■ ■ ■：百万円



©2026 Orchestra Holdings Inc. Securities Code : 6533

ORCHESTRA HOLDINGS

セグメントトピックス | DX事業

- **ベトナム国防省傘下の世界有数のセキュリティ企業Viettel Cyber Securityおよびアートネット株式会社と提携し、「SBOM＋」の提供を開始**
- **ヴェスの豊富な顧客基盤と提携先の高度な技術力を融合し、セキュリティ事業をDX事業の新たな成長領域として強化**

SBOM＋について



- SBOMとはソフトウェアの構成要素や要素の依存関係を一覧化した情報。製品セキュリティ関連規制に対応する上で重要性が高まっている
- SBOM＋は、法規制に対応するための業務プロセスを自動化・一元管理するサービス

本取り組みのポイント

01

新たな成長市場への展開強化

サイバー攻撃の高度化やセキュリティ規制の強化を背景に、企業のセキュリティ対策需要が拡大。ヴェスの品質検証で培った顧客基盤を活用し、新たな成長市場への本格参入を推進。

02

世界有数のセキュリティ企業との提携

ベトナム国防省傘下のViettelグループに属する**Viettel Cyber Security**と提携。同社は国際的なハッキング競技大会「Pwn2Own」で2年連続総合優勝を果たすなど、世界有数の技術力を保有。

※1：株式会社ヴェス、Viettel Cyber Security、アートネット株式会社と「SBOM＋」の提供体制構築に向けたアライアンスを締結（2026年10月8日開示） https://www.ves.co.jp/news/4174/

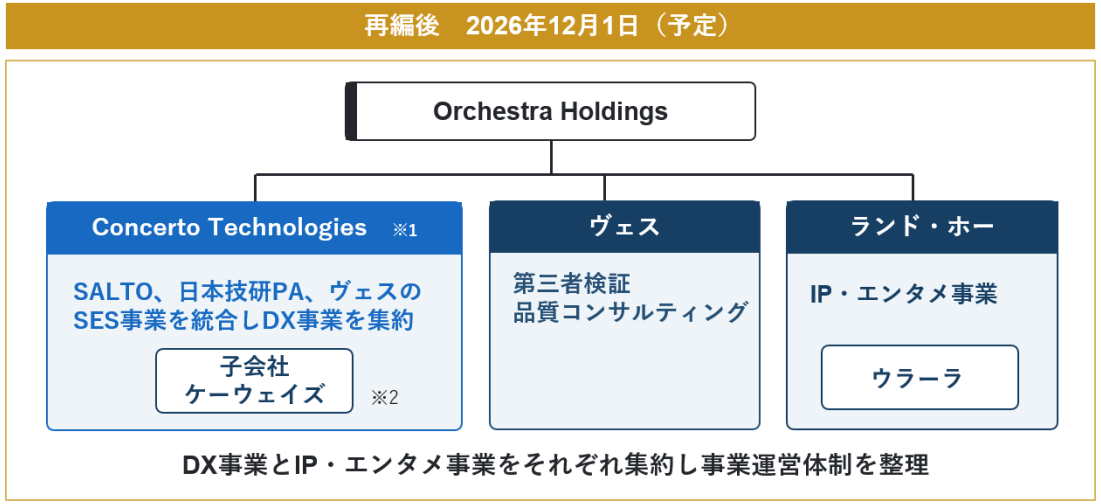
©2026 Orchestra Holdings Inc. Securities Code : 6533

ORCHESTRA HOLDINGS

セグメントトピックス | DX事業

- **DX事業の成長加速と収益性向上に向け、グループ組織を再編し、経営資源の集約と事業運営の効率化を推進**
- **新体制「Concerto Technologies」のもと、人材・技術・顧客基盤の融合による事業シナジーの創出と持続的な利益成長を目指す**

再編後の事業運営体制



- SALTO、日本技研PA、ヴェスのSES事業をSharing Innovationsへ統合し、DX事業を集約（吸収合併3件・吸収分割2件）
- DX事業への経営資源の集中と運営効率化に向け、チャット占い「ウラーラ」をランド・ホーへ移管し、事業領域を整理

本再編のポイント

01　DX事業の成長加速

人材・顧客基盤・技術ノウハウを集約し、大型案件・クロスセルなど受注機会を拡大

02　DX事業の収益性向上

管理機能の統合や人材配置の最適化を通じて、コスト競争力と利益創出力を強化

03　経営資源の集中と運営効率化

IP・エンタメ事業を別会社へ集約し、DX事業への経営資源の集中とグループ運営の効率化を推進

※1：グループ組織再編に関するお知らせ についての補足資料（2026年10月13日開示）https://ssl4.eir-parts.net/doc/6533/tdnet/2894042/00.pdf

©2026 Orchestra Holdings Inc. Securities Code : 6533

ORCHESTRA HOLDINGS

セグメントトピックス｜DX事業　組織再編による収益性の改善

- グループ再編を通じて経営資源を集約し、事業運営の効率化と収益基盤の強化を推進
- コスト構造の抜本的な改革とグループ間連携の強化により、利益成長を加速

収益性改善の3つの施策

上場維持コストの削減

上場廃止により、直接費用と開示・管理業務の負担を軽減

- 監査・開示関連費用
- 株主総会・IR関連費用
- 証券代行・取引所関連費用

組織・拠点運営の効率化

組織統合を通じて、管理業務やオフィス拠点の効率的な運営を推進

- 管理業務・体制の効率化
- オフィス拠点の集約
- 地代家賃等の固定費効率化

営業・人員配置の最適化

営業連携と人材の相互活用により、案件機会と稼働率の向上を推進

- 営業機能・顧客基盤の連携
- 案件・人材情報の一元化
- 人材の相互活用・稼働率向上

経営資源の最適配分とグループ一体運営により、効率的で競争力の高い事業基盤を構築

改善効果の見込み

2027年12月期

年間 3億円以上

のコスト改善を見込む

固定費の削減
上場維持費用・管理業務の重複を解消

利益率の向上
人材の相互活用で稼働率を向上

※1：グループ組織再編に関するお知らせ についての補足資料（2026年10月13日開示）https://ssl4.eir-parts.net/doc/6533/tdnet/2894042/00.pdf

©2026 Orchestra Holdings Inc. Securities Code : 6533

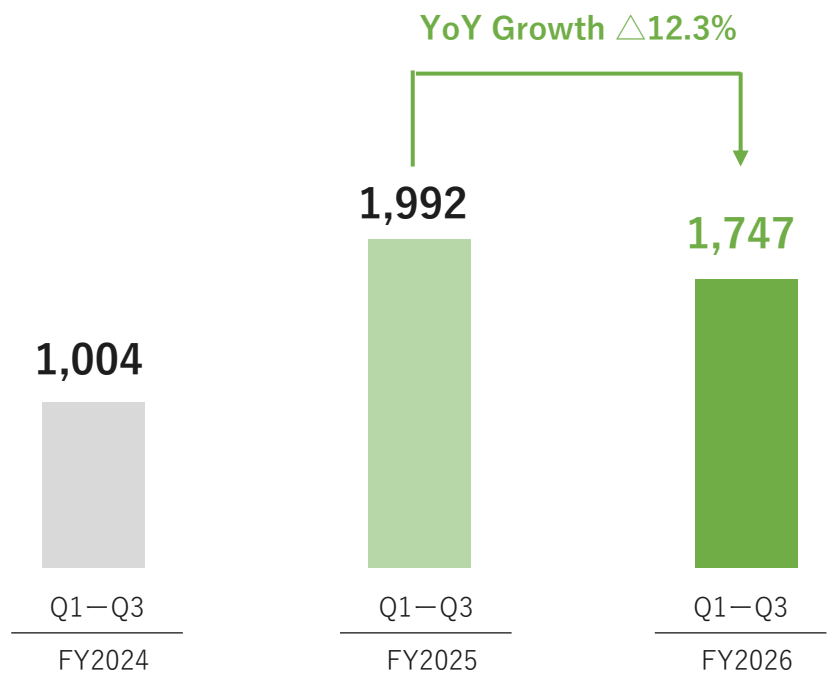
ORCHESTRA HOLDINGS

セグメント分析 | IP・エンタメ・その他事業

- IT人材紹介事業の不振によりセグメント全体では減収減益もIPエンタメ事業は順調に推移し最終利益を確保
- 今後はチャット占いアプリ「ウラーラ」をランド・ホーへ移管し、ゲームとの相乗効果で新たな収益機会を創出

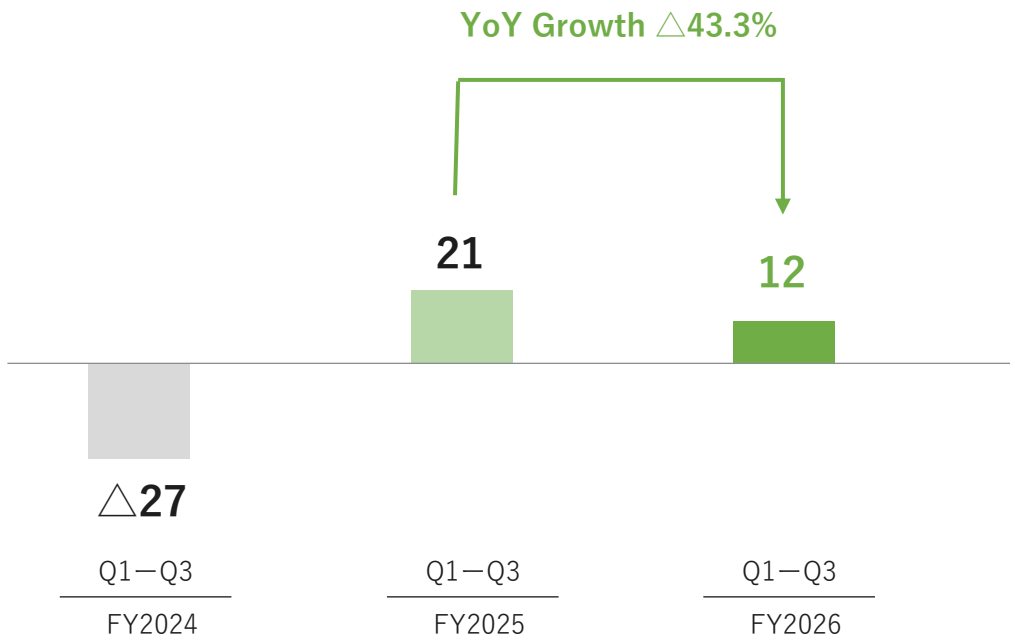
セグメント売上高（累計期間）

：百万円



セグメント利益（累計期間）

：百万円



©2026 Orchestra Holdings Inc. Securities Code : 6533

ORCHESTRA HOLDINGS

セグメントトピックス | IP・エンタメ・その他事業

- **AKB48の佐藤綺星が子会社ヴィーボに所属**
- **『ダービースタリオン２』が高評価、DLランキング１位を獲得**

AKB48の佐藤綺星が子会社ヴィーボに所属



- IP・エンタメ事業の重点成長領域として、タレントの発掘・育成・マネジメントを強化し、芸能事業の本格的な拡大を推進
- AKB48のセンターやドラマ主演など豊富な実績を持つ佐藤綺星が所属。テレビ・映画・広告・イベント等への活動領域拡大に加え、ファンビジネスやIPを活用した新規事業の展開を目指す

※：佐藤綺星の当社グループ所属に関するお知らせ（2026年10月7日開示）
https://orchestra-hd.co.jp/news/2026/post-13.html

『ダービースタリオン２』が高評価、DLランキング１位を獲得

ゲーム開発を手がけるランド・ホーが開発を担当したNintendo Switch™（※）2 専用ソフト『ダービースタリオン２』（※）が発売後「Nintendo Switch 2 ソフト ダウンロードランキング」にて 1位を獲得。



日本を代表する総合ゲーム情報誌・メディアである「ファミ通」様からゴールド殿堂入りという高い評価を頂き、Amazonなどのカスタマーレビューにおいても、ユーザーから非常に高い支持を得ている。

※Nintendo Switch および Nintendo Switch のロゴは任天堂の商標です。
※制作著作：株式会社パリティビット / 開発／発売元：株式会社ゲームアディクト
※権利表記：©ParityBit ©GAME ADDICT ©SUGIYAMA KOBO

©2026 Orchestra Holdings Inc. Securities Code : 6533

ORCHESTRA HOLDINGS

連結損益計算書

- 売上は、IT人材紹介事業がQ3累計で前年同期と比較して2.6億円減少したが、DM事業、DX事業が成長し、全体では成長。
- 営業利益は13億円で着地、前年同期比で＋21.4%増加。予算進捗率は81.5%。

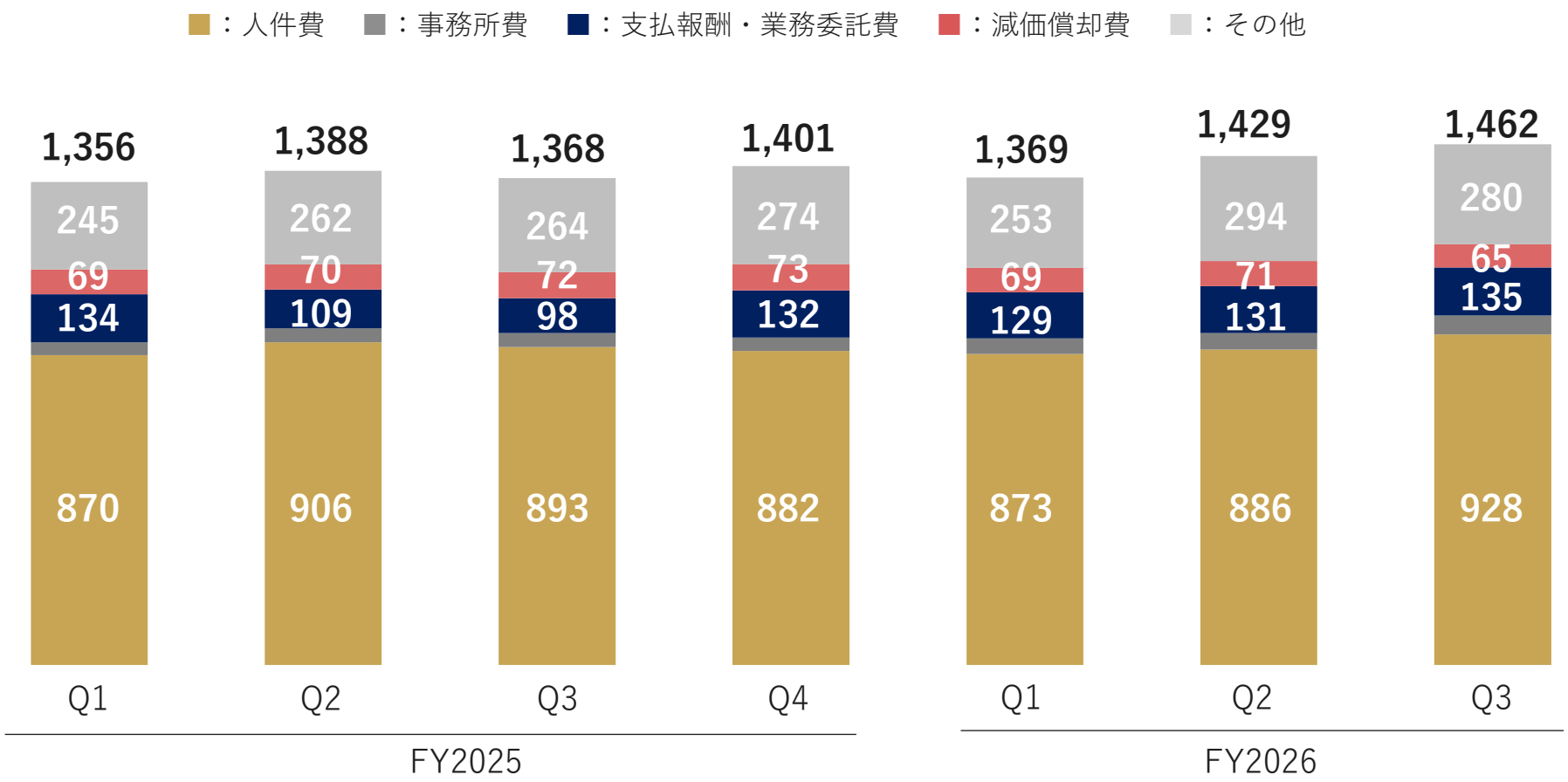
単位：百万円	FY2025.Q3 会計期間	FY2026.Q3 会計期間	前年同期比（会計期間）	FY2025.Q3 累計期間	FY2026.Q3 累計期間	前年同期比（累計期間）
売上収益	3,954	4,274	＋8.1%	11,748	12,073	+2.8%
DM事業	1,436	1,506	＋4.8%	4,192	4,428	+5.6%
DX事業	1,902	2,261	+18.9%	5,709	5,985	+4.8%
IP・エンタメ・その他	658	529	△19.6%	1,992	1,747	△12.3%
連結調整	△42	△22	-	△145	△87	-
売上総利益	1,743	1,888	＋8.3%	5,136	5,552	+8.1%
売上総利益率	44.1%	44.2%	＋0.1pt	43.7%	46.0%	+2.3pt
事業利益	375	425	＋13.5%	1,022	1,290	+26.1%
営業利益	385	431	＋11.8%	1,074	1,304	+21.4%
営業利益率	9.7%	10.1%	＋0.3pt	9.1%	10.8%	+1.7pt

©2026 Orchestra Holdings Inc. Securities Code : 6533

ORCHESTRA HOLDINGS

販売費及び一般管理費の推移

- SALTO社の合流によるDX事業での人件費増加、好調なDM事業やIP事業での業務委託費の増加などにより、全体としては前年同期比で+6.9%



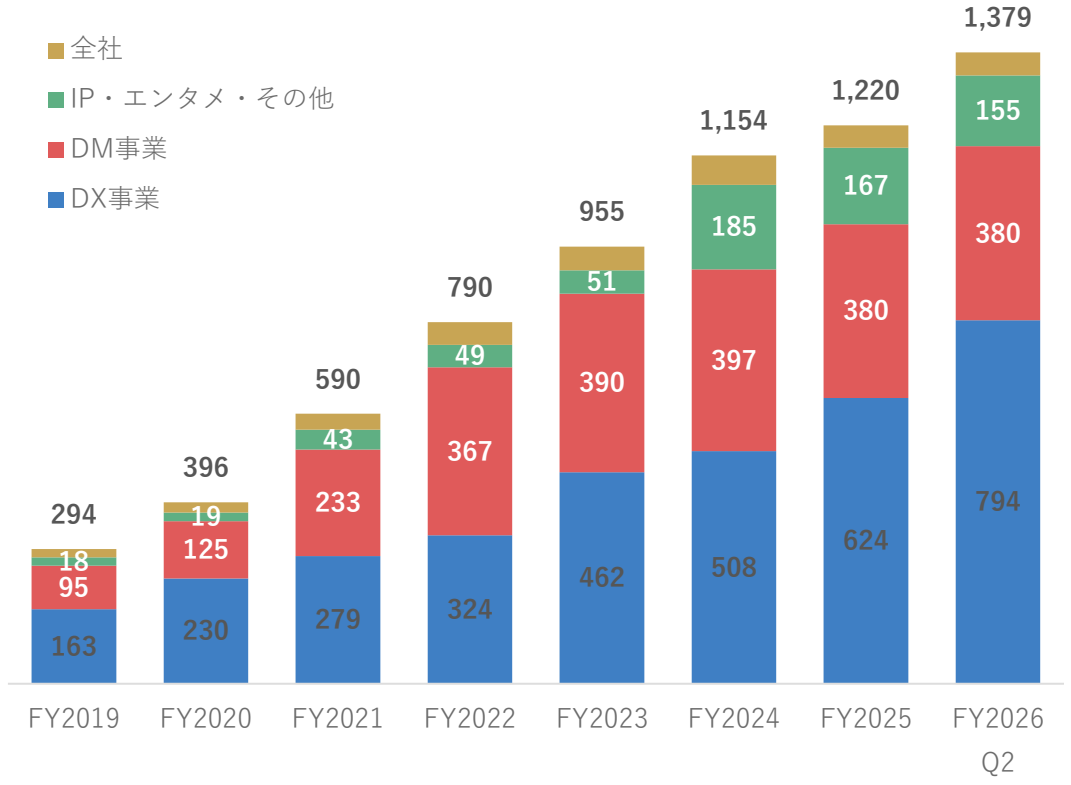
©2026 Orchestra Holdings Inc. Securities Code : 6533

ORCHESTRA HOLDINGS

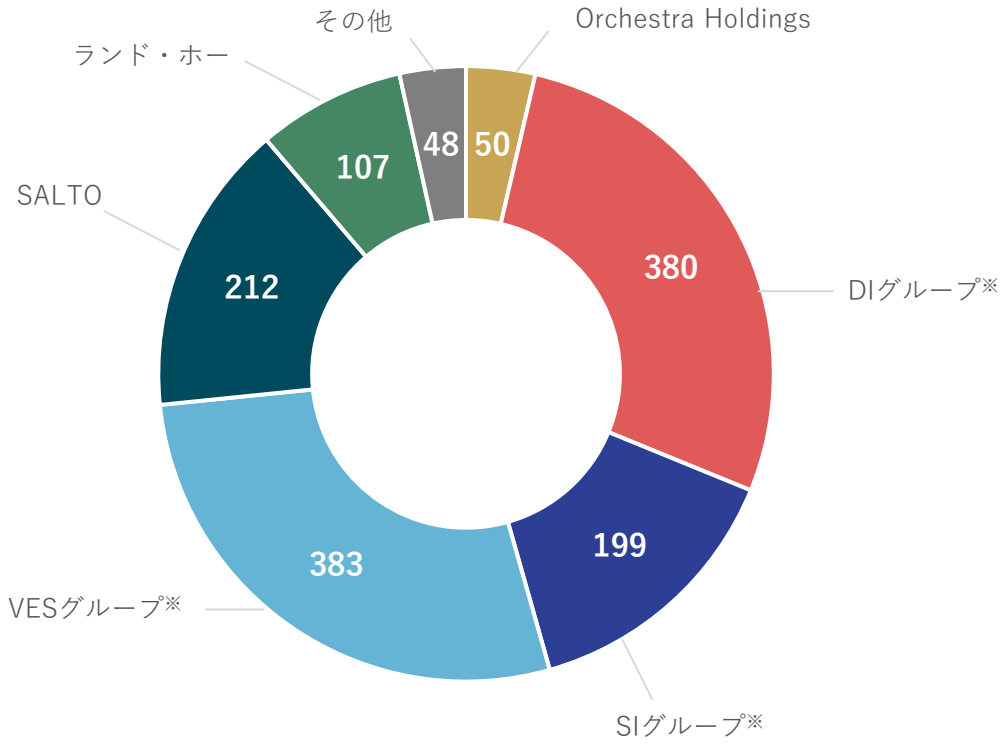
役職員数

- 従業員数は2026年6月末で1,379人
- DM事業はAI推進による生産性の向上により一人当たりの売上・利益が増加
- DX事業は前期末から約170名増。M&A、PM採用により体制を強化。

セグメント別役職員数推移



グループ会社別役職員数（2026年6月末時点）



※ DIグループ：デジタルアイデンティティ、ピース、ぱむの合計3社。
SIグループ：Sharing Innovations、Sharing Innovations Vietnam、Coznetの合計3社。
VESグループ：ヴェス、日本技研プロフェッショナルアーキテクト、ケーウェイズの合計3社。

©2026 Orchestra Holdings Inc. Securities Code : 6533

ORCHESTRA HOLDINGS

連結財政状態計算書

親会社所有者帰属持分比率38.9%。SALTOの子会社化によりのれん対資本比率は0.91倍、DX事業強化に向けた戦略的投資の結果であり、シナジー創出による十分な回収を見込む。

単位：百万円	FY2025.Q4	FY2026.Q3	前期末比
流動資産	7,532	8,123	+7.9%
非流動資産	8,627	10,005	+16.0%
資産合計	16,159	18,129	+12.2%
流動負債	5,417	5,882	+8.6%
非流動負債	3,728	4,642	+24.5%
負債合計	9,145	10,524	+15.1%
資本	7,014	7,604	+8.4%
負債及び資本	16,159	18,129	+12.2%

©2026 Orchestra Holdings Inc. Securities Code : 6533

目次

- エグゼクティブ・サマリー
- FY2026.Q3決算概要
- **成長戦略**
- 補足資料

©2026 Orchestra Holdings Inc. Securities Code : 6533

ORCHESTRA HOLDINGS

展開市場と市場機会

- 「成長戦略で戦う」という基本方針の下、中長期的にも事業機会の大きな成長市場で事業を展開

インターネット広告市場

4.0 兆円※1

市場機会

購買行動のデジタル化、オンライン利用時間の増加などを背景に企業の広告予算がマスメディア広告からデジタル広告に移行。AIなどの技術進化により、デジタル広告の中でも特に効果測定の可能な運用型広告に対するニーズが拡大。

国内ソフトウェア市場

16.7 兆円※2

市場機会

DX化の進展やAIの登場など、 需要と機会が拡大しているにも関わらずIT人材は中長期的に80万人以上が不足 。

ソフトウェア開発工程のうち3割超はテスト工程が占める

※推定ソフトウェアテスト市場約6兆円※3

コンテンツ市場

14.2 兆円※4

市場機会

旧来コンテンツのデジタル化、個人クリエイターの増加、配信プラットフォームの拡大、「推し活文化」の浸透を背景に体験型コンテンツやAI・XRなどの最新技術を活用したコンテンツ需要が拡大。

※1：株式会社電通「2025年 日本の広告費（2026年3月）」
※2： 経済産業省 「情報通信業基本調査」のソフトウェア業の当該業種売上を参照
※3： IPA 「ソフトウェア開発データ白書」の新規開発における開発5工程のうち、結合テスト、総合テスト工程の割合を参照
※4：一般社団法人デジタルコンテンツ協会「デジタルコンテンツ白書2025（2025年9月）」

©2026 Orchestra Holdings Inc. Securities Code : 6533

ORCHESTRA HOLDINGS

成長戦略

創業時から一貫した基本戦略

“成長市場で戦う”

最も重要戦略として位置づけ。
マクロ要因や自社アセット活用によって、
新たな市場／成長機会を開拓する。



非連続的な成長機会

“M&Aの積極活用”

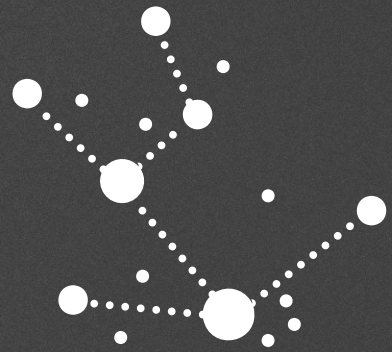
創業以来、約30件のM&Aを実行。
新規市場への参入から、既存事業の強化まで、
非連続的な成長機会を創出。



企業連携によるHDシナジー

“創造の連鎖”

新しい技術領域や成長領域において、
新サービスや新規事業をHD連携により創出し、
Visionである「創造の連鎖」を体現。



©2026 Orchestra Holdings Inc. Securities Code : 6533

ORCHESTRA HOLDINGS

事業別重点テーマ及び主な取り組み

DM事業

重点テーマ

01 顧客から選ばれ続ける体制を整備することで、大型案件の獲得力を強化する

02 AI時代のデジタルマーケティングにおける付加価値と品質の継続的な向上を目指す

主な取り組み

- 構造改革期に強化した組織体制、営業力・提案力により、大型案件の新規獲得率・商談成約率を高める
- デジタルマーケティングに特化したAIプロダクトを開発し、自社における品質と生産性を同時に向上するとともに、一部機能の外販によって新規顧客の開拓を加速する

DX事業

重点テーマ

01 採用およびM&Aを通じた人的基盤の拡充を進め、顧客への対応力や開発・運営体制を横断的に強化する

02 人的資本価値向上を目的とした育成・定着施策の強化を推進する

主な取り組み

- 既存のDX事業グループ企業とのシナジーを考慮しつつ、成長領域のM&A案件の検討を進める
- 年々高度化するエンジニア採用市場に対して、先手を打った対応を継続する
- 従業員エンゲージメント向上と人材活躍を促進する職場環境の構築を進める

IP・エンタメ・その他

重点テーマ

01 IP・エンタメ領域はアイドルプロデュースとゲーム開発を中心に成長を目指す

02 その他領域はIT人材紹介事業とSaaS型タレントマネジメントシステム事業を中心に成長を目指す

主な取り組み

- 日本最大級のアイドルフェスであるTIFに出場したHoney devilを中心に、グループ数の増加も狙いながらアイドルプロデュース事業を成長させる
- Robloxを活用したマーケティング領域やUnity技術を駆使したデジタルツイン領域など、ゲーム開発事業を通して培った知見を駆使して、新規領域でのビジネス確立も目指す

©2026 Orchestra Holdings Inc. Securities Code : 6533

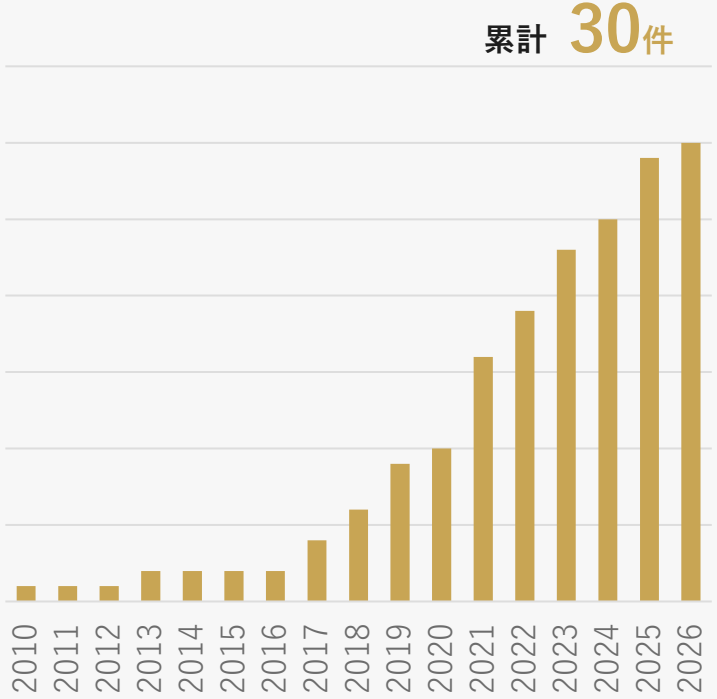
ORCHESTRA HOLDINGS

成長戦略補足

M&A戦略について

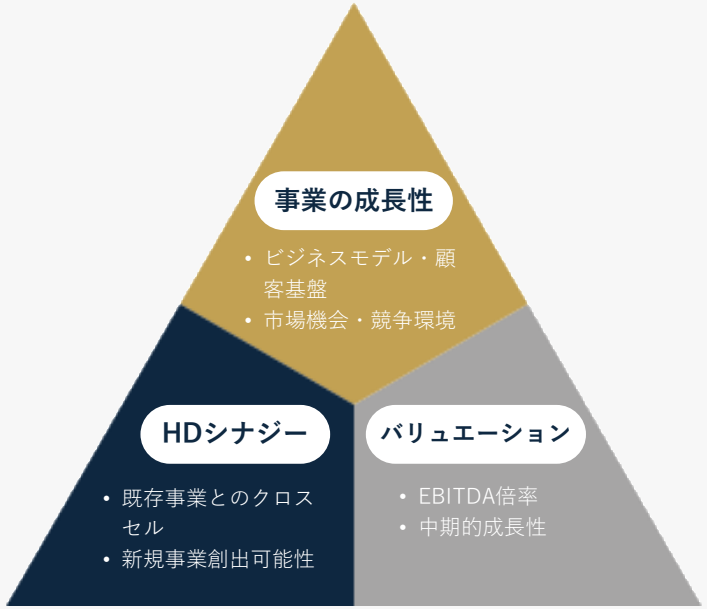
M&Aにおける強み・特徴

約30件の投資実績により
蓄積された投資・PMIノウハウ、
エグゼキューション力が強み



投資基準

「成長性」「HDシナジー」
「バリュエーション」の3項目を
投資基準に、投資企業を厳選



投資戦略

新規領域と既存領域の両軸で検討

01

TAMを拡大するためのM&A

M&Aの活用により、新たな成長市場への参入を進める。既存事業とシナジーを見込むことができる隣接市場を中心に検討。現在は、ITコンサルやERP導入など上流開発領域企業、セキュリティ領域企業を主に検討している。

02

ロールアップ戦略のためのM&A

複数の同業他社のM&Aにより、サービスラインナップ・顧客基盤・人的リソースを拡充していく。

DM事業・DX事業に加え、IP・エンタメ領域でも案件を検討している。

©2026 Orchestra Holdings Inc. Securities Code : 6533

ORCHESTRA HOLDINGS

成長戦略補足

M&Aの投資事例

領域	市場規模
AD/SEO クリエイティブ/SNSマーケ（2009年6月開始）	約4兆円※1
システムソリューション（2017年6月開始）	約16兆円※2
クラウドインテグレーション（2019年1月開始）	
ソフトウェアテスト（2023年5月開始）	うち 約6兆円※3
ゲーム開発（2024年9月開始）	約2兆円※5

TAMの拡大

ロールアップ戦略

Mint'Z Planning co.,ltd.
PAM GROUP
ADAM TECHNOLOGIES
E2E EMPOWERMENT JAPAN
LIFULL Marketing Partners
Sharing Innovations
A&B エー・アンド・ビー・コンピュータ
日本技研 プロフェッショナル アーキテクト
SALTO
※DX領域で11社をM&Aし、統合
KHWAYz
VES validation engineering service
HANDHO!

※1 出所: 電通 「日本の広告費」　※2出所: 経済産業省 「情報通信業基本調査」（ソフトウェア業の売上高より算定）　※3 出所: 独立行政法人情報処理機構（IPA） 「ソフトウェア開発分析データ集」
※4 TAM=Total Addressable Market (獲得可能な最大市場規模）※5 出所: XENO BRAIN 「市場規模予測 ゲームソフトメーカー」

©2026 Orchestra Holdings Inc. Securities Code : 6533

ORCHESTRA HOLDINGS

成長戦略補足

創造の連鎖 ー グループ間シナジーにより、M&A後の新たな価値創造を実現

新規サービスの開発

事例：マーケティングDX支援

Digital Identity × Sharing Innovations

Sharing Innovationsがマーケティングデータ蓄積の仕組みを構築し、デジタルアイデンティティのマーケティングサービスをかけ合わせることにより、顧客体験と成果を最大化する

例

- Salesforceにおけるマーケティングオートメーション領域

事例：メタバース・マーケティング

Digital Identity × GRAND HOI!

ゲーム開発技術とマーケティング技術を組み合わせることにより、コミュニティ空間の構築と仮想体験を通じた新たな購買チャネル創出とブランド価値向上を実現するサービスを開発

例

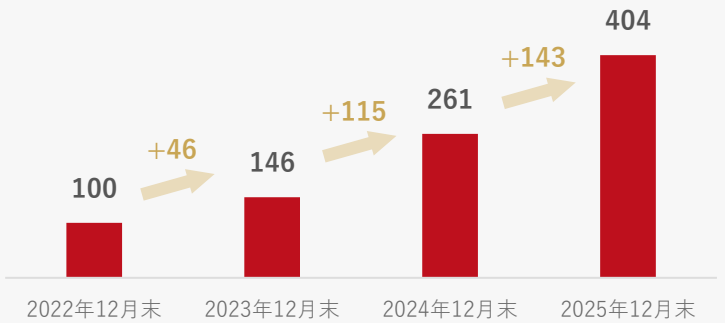
- Robloxを活用しZ世代を対象としたマーケティング
- Unityを活用した、デジタルツイン領域

非連続的な組織拡大

採用力・開発力の向上

VES validation engineering service

- 「上場企業グループ会社」のネームバリューを獲得することにより、**採用力が向上**
- HDの強みである「M&A」のケイパビリティを活用し、**同業他社の買収による開発力の強化**（エンジニアの飛躍的な増加）を実現



VESグループの役職員数推移

©2026 Orchestra Holdings Inc. Securities Code : 6533

ORCHESTRA HOLDINGS

成長戦略のアップデート__コンサルティングチームの構築

- 「DM事業」と「DX事業」を融合したコンサルティングチームの構築に着手
- グループ横断でマーケティングとDXを掛け合わせた包括的なソリューションの提供を目指す

DM事業

- 全体設計
- データ分析
- 認知広告
- 運用型広告
- メタバースマーケティング
- 制作
- SEO
- LLMO

コンサルティング セールスチーム

DM・DX双方の専門性を統合し、
顧客課題に応じた
最適なソリューションを提案

DX事業

- クラウドインテグレーション
- システム開発
- データ活用
- デジタルツイン
- 自動認識
- ソフトウェアテスト
- セキュリティ

DM×DXを包括的に提案することで、クライアントの事業成長を加速

既存顧客の付加価値最大化

事業成長に貢献するソリューションを横断提案し、
長期的なパートナーシップを構築

新規顧客の開拓

DM・DXの両面から課題をとらえ、
新たな顧客層へアプローチ

©2026 Orchestra Holdings Inc. Securities Code : 6533

目次

- エグゼクティブ・サマリー
- FY2026.Q3決算概要
- 成長戦略
- 補足資料

©2026 Orchestra Holdings Inc. Securities Code : 6533

Vision

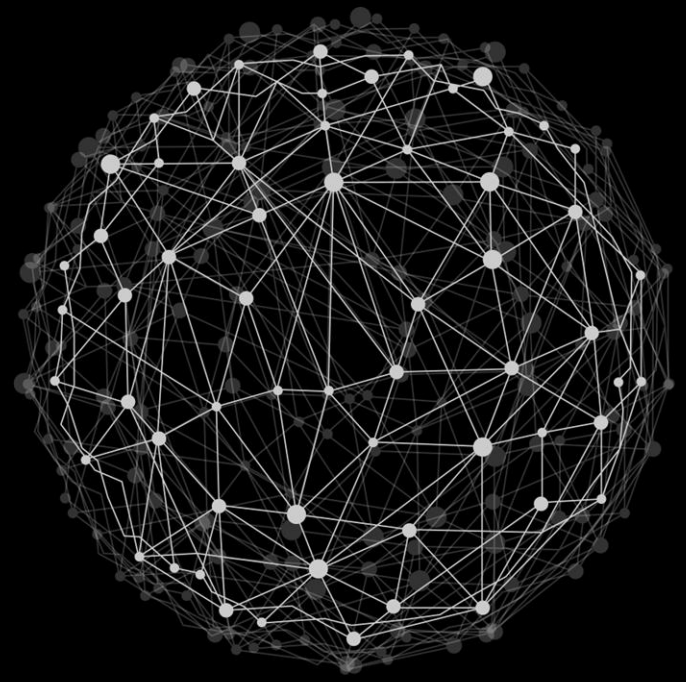
創造の連鎖

世界経済が成長を続ける中、日本は「少子高齢化と人口減少」、「デジタル化の遅れによる低い労働生産性」、「設備投資の不足」といった構造的な課題に直面しており、経済の相対的な地位が低下する傾向にあります。

日本経済が再び成長軌道に乗るためには、「デジタルやAIを活用した既存モデルからの脱却」、「固定観念や先入観に縛られない柔軟な価値観での人材活用や仕組み作り」、「新たな技術や事業への投資」などの「新たな価値創造」が急務になっています。

私達オーケストラHDは、「創造の連鎖」をキーワードに、様々な事業や人材の共創が生まれる、「価値の創造とその連鎖」を生み出します。

私達は、“オーケストラ”という名前の通り、メンバー1人ひとりがプロフェショナルな意識を持ちベストなパフォーマンスを発揮できるように心掛けます。 多様な音色が一体となって響き合うように“協奏”を生み出し日本経済の発展と革新に貢献してまいります。



©2026 Orchestra Holdings Inc. Securities Code : 6533

ORCHESTRA HOLDINGS

Orchestra Holdingsの展開事業

デジタルマーケティング（DM事業）



売上収益

57.0億円

2025年12月期実績

デジタルマーケティング戦略企画から施策立案・運用までの全てをワンストップで提供。
“フルファネル型×高付加価値”のサービス展開が特徴。

- 戦略策定
- データ分析
- クリエイティブ制作
- 認知広告
- 運用型広告
- SEO

デジタルトランスフォーメーション（DX事業）



売上収益

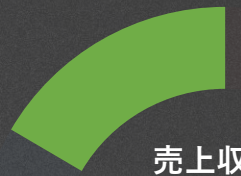
76.1億円

2025年12月期実績

クラウドインテグレーションやシステムソリューションなど、幅広いサービスラインナップを提供。
2023年に参入したソフトウェアテストサービスが高成長中。

- WEB系
- スマホ系
- 基幹システム系
- クラウドインテグレーション
- システムソリューション
- ソフトウェアテスト

IP・エンタメ・その他



売上収益

26.4億円

2025年12月期実績

新たな主力事業や安定的な収益確保の柱になる事業の開発と育成。
HDシナジー最大化に貢献する事業群であることも特徴。

- 戦略策定
- 自社アプリ
- IP
- 認知広告
- IT人材派遣
- HR SaaS

©2026 Orchestra Holdings Inc. Securities Code : 6533

ORCHESTRA HOLDINGS

Orchestra Holdingsの展開事業

デジタルマーケティング（DM事業）



デジタルマーケティング戦略企画から施策立案・運用までの全てをワンストップで提供。
“フルファネル型×高付加価値”のサービス展開が特徴。

- 戦略策定
- データ分析
- クリエイティブ制作
- 認知広告
- 運用型広告
- SEO

デジタルトランスフォーメーション（DX事業）



クラウドインテグレーションやシステムソリューションなど、幅広いサービスラインナップを提供。
2023年に参入したソフトウェアテストサービスが高成長中。

- WEB系
- スマホ系
- 基幹システム系
- クラウドインテグレーション
- システムソリューション
- ソフトウェアテスト

IP・エンタメ・その他



新たな主力事業や安定的な収益確保の柱になる事業の開発と育成。
HDシナジー最大化に貢献する事業群であることも特徴。

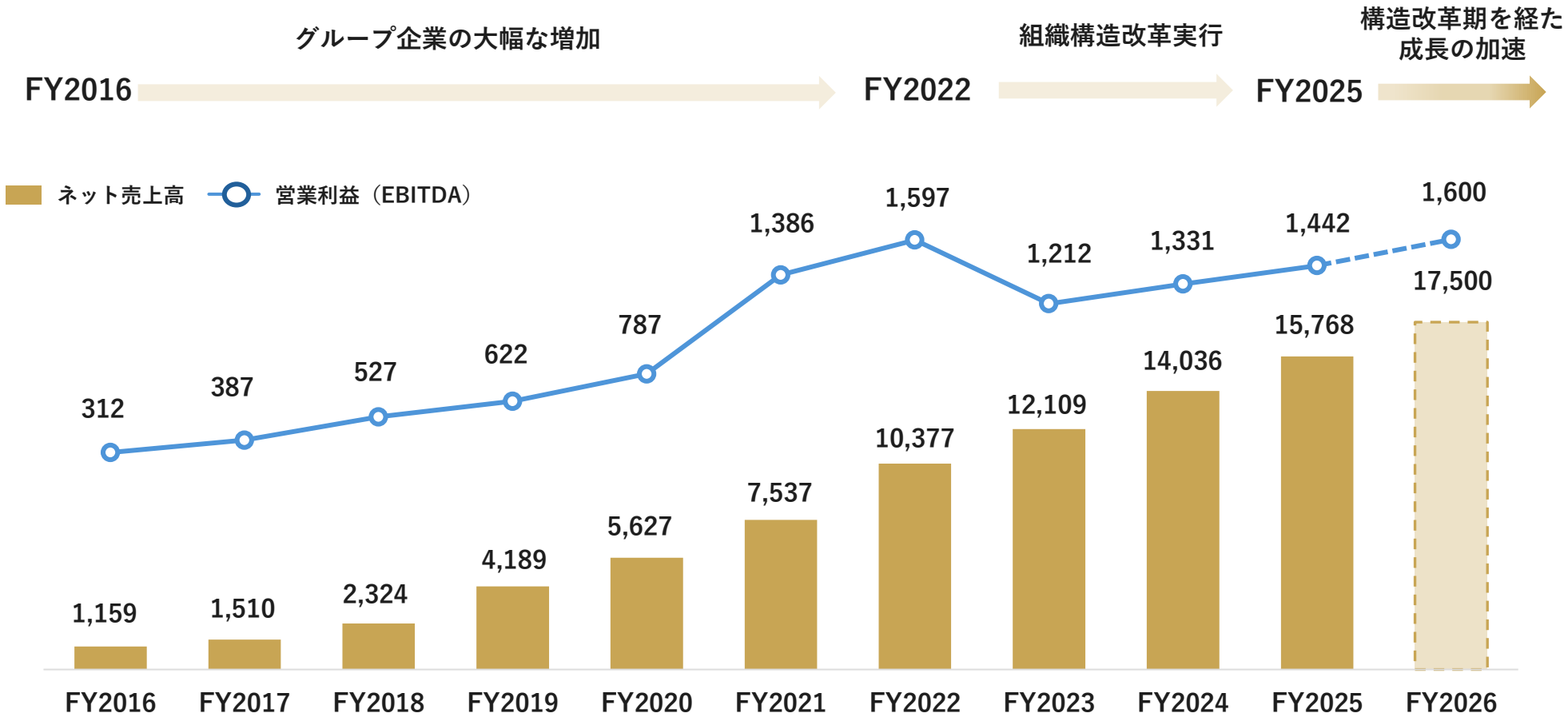
- 戦略策定
- 自社アプリ
- IP
- 認知広告
- IT人材派遣
- HR SaaS

©2026 Orchestra Holdings Inc. Securities Code : 6533

ORCHESTRA HOLDINGS

業績推移

- FY2022からFY2025にかけて実施した組織の構造改革が完了
- 構造改革期を経て、FY2026以降は売上高成長と利益成長を両立するフェーズに入る



※1：FY2021以前の売上は、新収益認識基準を適用した場合の概算値を参考情報として記載しております。
※2：FY2023まではEBITDA（日本基準での連結営業利益に減価償却費および のれん償却費を足し戻して算出。）を使用しております。

@2026 Orchestra Holdings Inc. Securities Code : 6533

グループ会社紹介

- セントラルマネジメント方式により、グループ各社がコア業務に集中できる組織体制を構築
- 上場子会社、上場準備子会社では個社ごとに適切なガバナンス体制を構築

株式会社Orchestra Holdings

DM事業

(株)デジタルアイデンティティ
- デジタルマーケティング事業

DX事業

(株)Sharing Innovations
- クラウドインテグレーション事業
- システムインテグレーション事業

(株)ヴェス
- ソフトウェアテスト事業

(株)SALTO
- システム開発事業

IP・エンタメ・その他

(株) ヴィーボ
- IP事業

(株)ランド・ホー
- ゲーム開発事業

(株) アールストーン
- 人材紹介事業

(株)ワン・オー・ワン
- タレントマネジメント事業

©2026 Orchestra Holdings Inc. Securities Code : 6533

DM事業の概要

- **デジタルマーケティングの戦略立案・提案・実行・データ分析まで、マーケティング全体の最適化を支援し、クライアントの集客・ブランディング等に貢献する”フルファネル型”のコンサルティングサービスを展開**

DM事業を展開する子会社

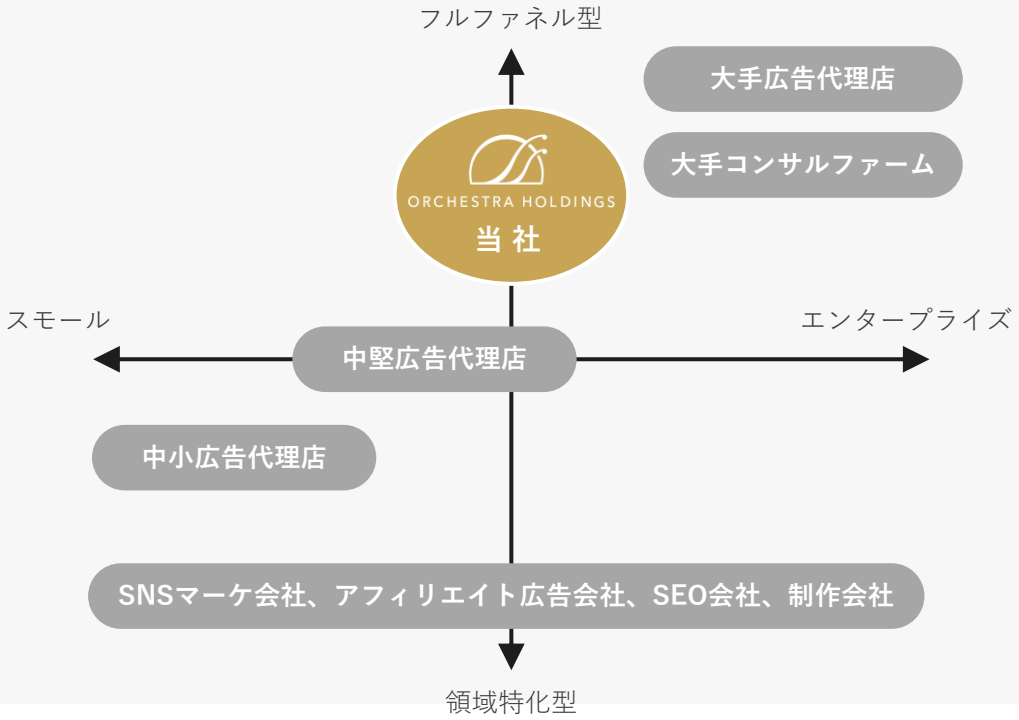
グループ2社にて事業を展開
デジタルアイデンティティが当社の祖業事業

㈱デジタルアイデンティティ
- デジタルマーケティング
- 戦略策定

㈱ピース
- ブランドコンサルティング
- web製作

ポジショニング

ミッドマーケットでシェア1位を目指す



©2026 Orchestra Holdings Inc. Securities Code : 6533

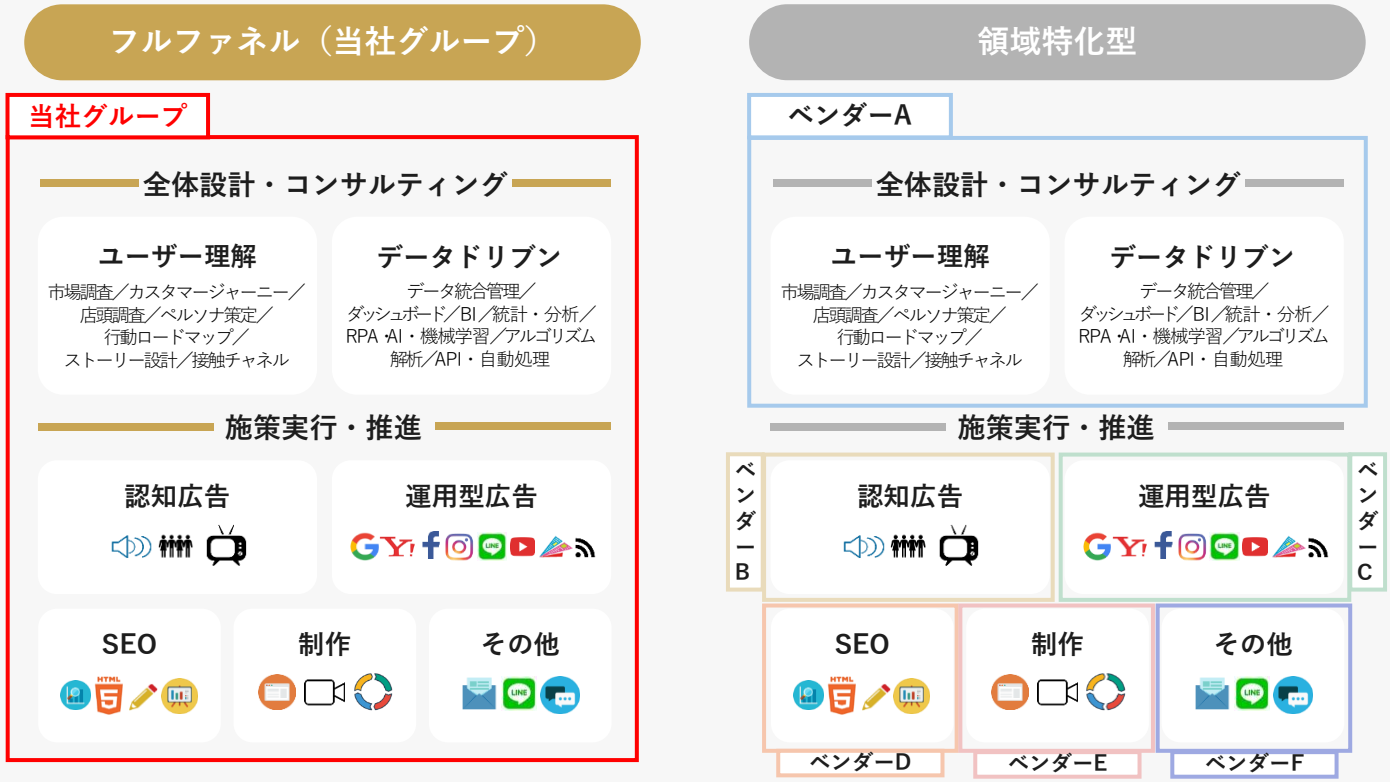
ORCHESTRA HOLDINGS

DM事業の強み・成長戦略

- **デジタルマーケティングの戦略立案・提案・実行・データ分析まで、マーケティング全体の最適化を支援し、クライアントの集客・ブランディング等に貢献する”フルファネル型”のコンサルティングサービスを展開**

強み

日々進化するデジタルマーケティング技術と、
技術進化に伴い高度化・複雑化する顧客ニーズの双方に対応できるサービスラインナップが強み



成長戦略

1 フルファネルの強みを活かした提案

認知広告・運用型広告・SEO・制作などを一元管理することで、最適な戦略立案から実行までをフルファネルで提供できる体制を構築している。この体制が、当社の大きな競争優位の源泉となっている。

2 多様な業界における実績と拡大戦略

金融、不動産、医薬品、生命保険、商業施設、Webサービスなど、幅広い業界で豊富な実績を持つ。これらの強みを活かし、今後は大型案件の獲得を積極的に進め、事業規模の拡大と収益力の向上を目指す。

3 生成AI時代に対応した提案力の強化

生成AIの進展を踏まえ、提案力とソリューションの質をさらに高めることで、クライアントの課題解決と企業の持続的成長を両立させる取り組みを推進する。

©2026 Orchestra Holdings Inc. Securities Code : 6533

ORCHESTRA HOLDINGS

DX事業の概要

- **売上1,000億円超の企業を主なクライアントとして、主に3つのサービス（クラウドインテグレーション・システム開発・ソフトウェアテスト）を展開。**

DX事業を展開する子会社

グループ5社にて事業を展開
直近はソフトウェアテストを展開するヴェスが高成長中

㈱Sharing Innovations
- クラウドインテグレーション
- データ活用コンサルティング

㈱SALTO
- システム開発
- ラボ型・請負型開発

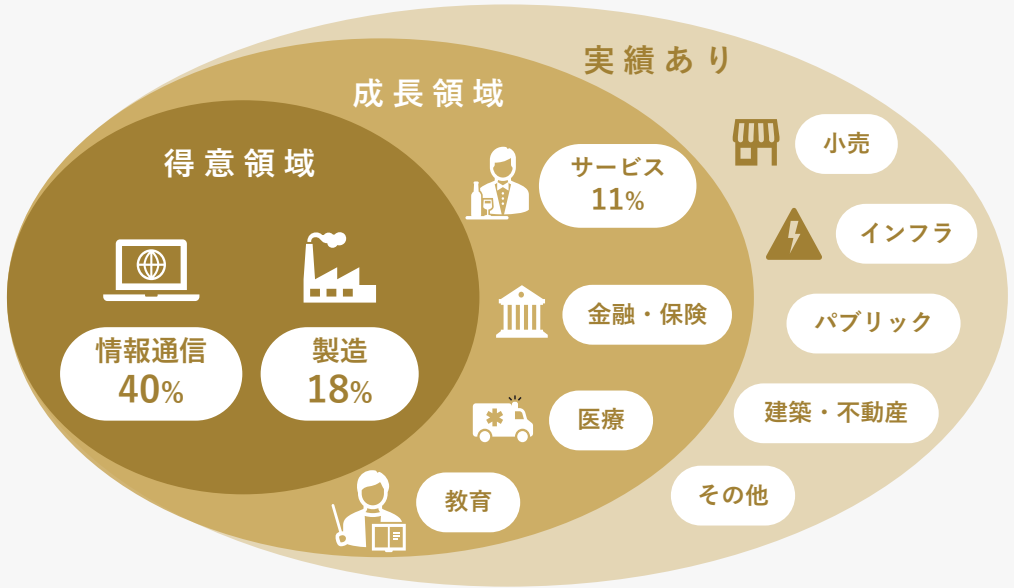
㈱ヴェス
- ソフトウェアテスト
- ITエンジニア派遣

㈱ケーウェイズ
- 自動認識システム開発
- IoTシステム開発

㈱日本技研 プロフェッショナル アーキテクト
- Webサイト/Webシステム開発
- 基幹業務システム開発

ターゲット企業

売上1,000億円以上の幅広い業種の中堅・大手企業を
主なターゲットに事業を展開。



©2026 Orchestra Holdings Inc. Securities Code : 6533

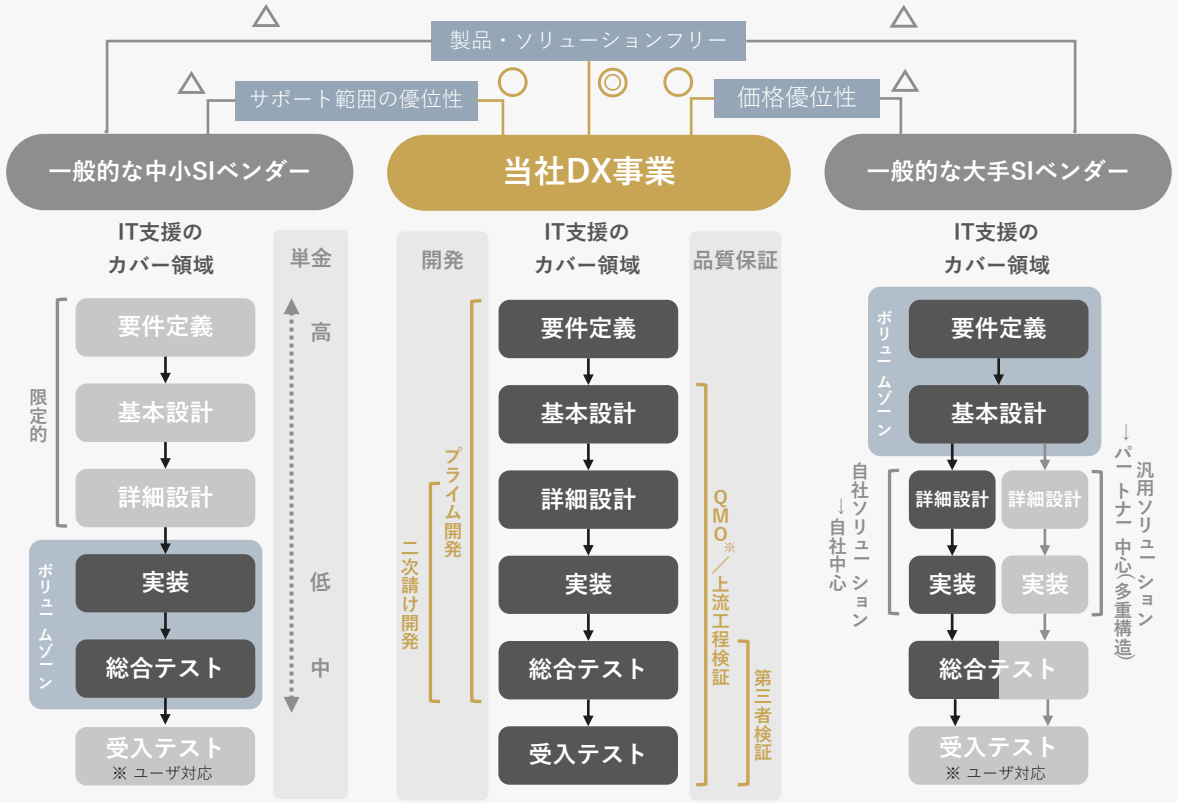
ORCHESTRA HOLDINGS

DX事業の強み・成長戦略

- **採用・育成力と開発基盤を強化した体制で受注を拡大。大型案件の獲得により持続的な成長サイクルを確立する。**

強み

・開発からテストまで一気通貫で対応が可能
・大手開発ベンダーと比較し、価格優位性がある
・品質領域に専門的なノウハウを保有している



※ Quality Managementの略

成長戦略

採用力 × 育成力 × 開発力

顧客基盤

- 年間1,000名超の応募者から厳選した人材を採用。豊富な資格取得実績もあり、育成も強化している。
  今後は採用を一層積極的に行い、開発体制を拡充することで、受注案件の増加と若手人材の育成機会創出を図る
- さらに、量的・質的に強化された開発力をもとに大型案件の受注を拡大し、売上成長を加速させる
- こうした成長循環を通じて、技術力と人材力の両面から顧客への提供価値を高め、業界内での競争優位を確立していく

©2026 Orchestra Holdings Inc. Securities Code : 6533

IP・エンタメ・その他の概要

- 第三の柱となることを期待する「IP・エンタメ」領域のサービスのほか、さらにその次の柱となる先行投資的な事業を展開

IP・エンタメ事業

Viivo

IP

- タレントマネジメント
- アイドルグループプロデュース

BANDAI NAMCO

ゲーム開発

- プラットフォーム問わず、ゲームの企画・開発・運営を手掛ける
- Roblox上での開発にも注力

ウラーラ

占い鑑定師プラットフォーム

- 1,000名以上の鑑定師にチャットで相談できる占いサービス

その他事業

スキルナビ

スキルマネジメントSaaS

- SaaS型スキルマネジメントシステム
- 最新テクノロジーでスキル管理や人材育成を支援

R-Stone.co.,ltd.

IT人材エージェント

- IT人材及びクリエイターに特化した転職エージェンシー

TechReach（テックリーチ）

求人情報サイト

- フリーランスエンジニア向け案件・求人情報サイト

©2026 Orchestra Holdings Inc. Securities Code : 6533

ORCHESTRA HOLDINGS

ESGへの取組み

- 「事業活動を通じた社会課題解決への貢献」という基本方針のもとマテリアリティを特定

マテリアリティ基本方針

当社グループは、事業活動を通じて社会課題の解決に貢献することが持続可能な社会の構築に寄与し、結果として、当社グループの持続可能な成長や企業価値の向上につながると考え、当社グループを取り巻く事業環境や経営状況、事業ステージといったさまざまな要素を考慮した上で、マテリアリティ（重要課題）を設定し、事業活動を通じてサステナビリティを推進してまいります。

当社グループが実現を目指すESG Goal's



サステナビリティ推進の取組

1 企業のDX化支援によるオフィスのエコ化実現

Salesforceの導入支援及びそのコンサルティングを通じ、企業のDX化を支援し、社内手続き等の電子化・効率化やテレワーク等による働き方改革を推進させることで、ペーパーレス及び省電力・CO2削減を実現。

2 IT人材の育成、ダイバーシティ・多様な働き方の推進、人権の尊重

今後さらに進展が期待される社会のデジタル化に積極的に取り組み、効率的で豊かな社会の実現に貢献するとともに、IT人材の育成を推進。また、すべての人に平等な機会を提供し、個々の人権を最大限に尊重することで、あらゆる場面において人権が守られる環境づくりに努め、持続可能な社会の発展に寄与。

3 ガバナンス体制の強化

各種委員会の設置検討や社外取締役の更なる登用、取締役会実効性評価等の施策の実行によるコーポレート・ガバナンスの強化。

©2026 Orchestra Holdings Inc. Securities Code : 6533



Vision

創造の連鎖

– 事業を通じて創造の志士を輩出し続ける -

ORCHESTRA HOLDINGS

免責事項

将来の見通しに関する注意事項

- 本発表において提供される資料ならびに情報はいわゆる「見通し情報」（forward-looking statements）を含みます。これらは、現在における見込み、予測及びリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内及び国際的な経済状況が含まれます。
- 今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正を行う義務を負うものではありません。
- 当社は、将来の事象などの発生にかかわらず、既に行っております今後の見通しに関する発表等につき、開示規則により求められる場合を除き、必ずしも修正するとは限りません。
- 当社以外の会社に関する情報は、一般に公知の情報に依拠しています。

©2026 Orchestra Holdings Inc. Securities Code : 6533